

目次

クリニカルクエスチョン一覧

第I章 序	1
1. 本ガイドラインの目的	3
2. 本ガイドラインを使用する場合の注意事項	3
3. ガイドライン作成法	3
4. ガイドライン出版, 作成ならびに評価に関する委員	3
5. 文献検索法, 文献レベル, 推奨度	5
1) 文献レベルの分類法	6
2) 推奨度分類	8
6. 改訂	8
7. 資金	8
第II章 本ガイドライン作成の必要性と特徴	9
1. 本ガイドライン作成の背景	10
2. 診断基準(スタンダード)の必要性	10
3. 急性胆管炎の診断と治療	13
4. 急性胆嚢炎の診断と治療	14
5. 本ガイドラインが目指すもの: 実地臨床に根ざしたガイドライン, 国際的な視野にたったガイドライン	15
第III章 定義・病態と疫学	17
1. 定義および病態	18
2. 成因, 発生頻度	21
3. 予後	27
第IV章 診療フローチャートと診療のポイント	35
第V章 急性胆管炎 —診断基準と重症度判定—	45
1. 診断基準, 重症度診断と搬送基準	46
2. 臨床徴候	53
3. 血液検査	55
4. 画像診断	57
5. 鑑別診断	62
第VI章 急性胆管炎 —基本的治療—	69
1. 基本的治療方針と初期治療	70
2. 細菌学的検索と抗菌薬	71
第VII章 急性胆管炎 —根本的治療— 胆管ドレナージ法の選択とそのタイミング	83

第VIII章 急性胆管炎に対する各種ドレナージ手技	89
1. 臨床的意義	90
2. ドレナージのタイミング	90
3. 内視鏡的胆道ドレナージ術の手技の実際	90
第IX章 急性胆嚢炎 —診断基準と重症度判定—	103
1. 診断基準と重症度判定基準	104
2. 臨床徴候	109
3. 血液検査	111
4. 画像診断	113
5. 鑑別診断	119
6. 診断基準	122
7. 重症度判定基準と搬送基準	123
第X章 急性胆嚢炎 —基本的治療—	131
1. 基本的治療方針と初期治療	132
2. 細菌学的検索と抗菌薬	134
第XI章 急性胆嚢炎 —胆嚢ドレナージ法—	143
1. 臨床的意義	144
2. ドレナージ時期	145
3. 手技	145
第XII章 急性胆嚢炎 —手術法の選択とタイミング—	151
第XIII章 特殊な胆道炎	159
1. 小児の胆道炎	160
2. 高齢者の胆道炎	162
3. 無石胆嚢炎	164
4. 肝内結石に伴う急性胆管炎, 肝内区域性胆管炎	169
5. 膵胆道悪性腫瘍に伴う急性胆道炎	170
6. 術後胆道炎	172
7. 先天性総胆管拡張症や膵管胆道合流異常に伴う急性胆道炎	174
8. 原発性硬化性胆管炎	175
第XIV章 急性胆管炎・胆嚢炎の診療ガイドラインの フィードバックの経過	185
1. 第40回日本胆道学会学術集会(2004.9.24~25, つくば市)	186
2. 第17回日本外科感染症学会での公開シンポジウム	186
3. 外部評価委員会	186
4. 第41回日本腹部救急医学会総会(2005.3.10~11, 名古屋市)	187

索引